

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成27年 7月22日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 滋賀県彦根市小泉町31番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 平和堂 代表取締役社長 夏原 平和

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004
適用範囲	株式会社平和堂アル・プラザ醍醐 ほかに4店舗
導入年月日	2002年7月12日
認証番号	JQA-EM2493
基本方針	私たちは、お客さまのご満足度向上をめざし、安全で安心な商品やサービスの提供を行うとともに、地球環境保全のために自ら責任を持ち、全社をあげて取り組んでいきます。さらにお取引先や地域社会とのコミュニケーションを重視した環境保全活動を進めることで持続可能な循環型社会形成に寄与していきます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	平成26年度環境目的・目標 環境配慮商品の販売拡大 88億円、 一次エネルギー・水道使用量の削減 原単位1%、 レジ袋使用重量削減 原単位1%、 CO2排出量の削減 2005年度対比原単位34.7%削減、 食品リサイクル率の向上 54%、 平和堂エコビースクラブの拡大 開催回数100回、 平和の森づくりの推進 参加人数の拡大800名
目標を達成するための取組の内容	・環境セレクト商品の販売拡大・POP訴求・協賛企画化・ポスター作成 ・節電・空調点検の徹底、温度管理表管理、省エネ設備への入替 ・お買い物袋持参運動の推進・ポスター作成・店内アナウンス・キャンペーン実施 ・省エネ設備入替・エネキ-転換 ・生ゴミ分別回収リサイクル店舗の拡大、リサイクル業者の選定 ・小学校へアプローチ強化、案内パンフ改訂、実施プログラムの見直し ・森づくり協定地域の活動計画の推進
目標を達成するための取組の進捗状況	・環境マネジメントプログラムに基づき、上記取組内容を実施。 ・取組内容の変更はなく、達成が難しい状況の目標については不適合として是正・予防措置を講じて改善に取り組み進めた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成26年度環境目的・目標の結果 環境配慮商品の販売拡大 86.6億円 △、 一次エネルギー原単位8.7%削減 ○、 レジ袋使用重量の削減 7.2%削減 ○、 CO2排出量の削減 2005年度対比36.3%削減 ○、 食品リサイクル率の向上 54.0% ○、 平和堂エコビースクラブの拡大 開催回数102回 ○、 平和の森づくりの推進 参加人数762名 ○
事業活動に係る法令の遵守の状況	・10月に全店舗で環境法規制等の自主点検を実施。 ・直近までの届出・報告書類等の状況確認、法定測定の実施及び基準地内の結果の確認を実施。 省エネ法改正に伴う報告等届出も早期に完了、その他家電リサイクル法の立入検査結果も問題なし。容り法・食り法の定期報告についても内容ともに問題なし。 各地域の条例対応についても調査確認の上、対応済みを確認。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	マネジメントレビューについては毎年1月に、社長へ1年間のEMSの進捗状況を報告し実施している。 レビューの結果、新規3ヶ年計画の策定に際し、今後予想される環境の変化を考慮し、注力して取り組む項目を分析し新たに取り組むまいようを検討する。EMS規格改正への取り組み、店舗方針とEMS取組みとの連動、60周年に向けた各取組み内容のレベルアップ 以上をトップから指示を受け平成27年度の運用に繋げている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。